

地歴公民科（世界史A） 学習指導案
 岡山県立岡山一宮高等学校 普通科 1年2組
 令和2年11月14日（土）第5校時 1年2組教室

指導者 岡山県立岡山一宮高等学校 教諭 長原 有紀

題材 『現代の世界史』 ナチス＝ドイツ（山川出版社『世界史A』）

目標 ○ナチス政権がどのような政策を取ったか説明することができる **【知識・理解】**
 ○ナチスの政策を通じて、平和で民主的な国家および社会の在り方について考え、説明することができる。
【思考・判断・表現】

○生徒の実態
 本クラスは普通科（男子 20 名、女子 20 名）である。素直で穏やかな生徒が多く、授業態度は誠実であり、積極的に発言し、活発に活動するクラスである。

○題材観
 ナチスのヒトラーについて、生徒は名前を知っており、忌まわしい人物として記憶されている。しかしヒトラー率いるナチスはその暴力的な主張にも関わらず民主的な選挙を経て第一党となり、支持された。ユダヤ人迫害などで広く知られるヒトラーが、なぜ民衆に支持されたのか、もし自分が当時のドイツに生きていたらナチスに対してどのような態度をとるのかを考えさせることで、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。

○本題罪で工夫する点や手立て
 説明すべき要点を最小限にし、できるだけ生徒の活動にゆだねるところである。当時の人々が置かれた社会の状況などに着目させて、授業を展開していく。

指導と評価の計画	主な学習活動	具体的な評価基準と評価方法
7時間	第一次 世界恐慌とファシズム・・・3時間 第1時・・・世界恐慌の原因と影響 第2時・・・ナチス＝ドイツの台頭（本時） 第3時・・・スペイン内戦と満州事変 第二次 第二次世界大戦・・・4時間	・戦間期に発生した世界恐慌や、ファシズムの台頭が第二次世界大戦へと発展した経緯について、自ら資料の読解に取り組んだり、国際的な平和を追求する市民として自分の考えを述べたりしようとする。 【関心・意欲・態度】 ・戦間期に発生した世界恐慌や、ファシズムの台頭が第二次世界大戦へと発展した経緯について、その原因や影響を考察したり、現代社会において自分たちに求められることを判断したりして、表現することができる。 【思考・判断・表現】

5. 本時案（第一次第2時）

(1) 本時の目標

- ・ナチスが支持された当時のドイツの状況を資料から適切に読み取り、理解する 【知識・理解】
- ・学習課題に対して、根拠をもって自らの意見を述べる【思考・判断・表現】

(2) 展開

学習活動・内容	教師の支援	評価
1 ナチスに対してどのようなイメージを持っているか話し合う。	<p>○めあては板書しておく。</p> <p>○本時のめあてを説明する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 当時のドイツに生きていたらナチスに対してどのような態度をとるか考え、意見を述べる【知識・理解】 </div>		
2 世界恐慌がドイツにどのような影響をもたらしたか確認し合う。		<p>米資本の引き上げなど、世界の動向がドイツに影響を与えていることを理解することができる【知識・理解】</p>
3 経済活動が活発になり、失業率が大幅に改善された一方で、全体主義のために言論の自由が認められず、生活は監視されたことを踏まえて、当時のドイツに生きていたらどのような態度をとるかその理由とともに個人で考える。→ペアで共有	<p>○自由主義、民主主義の否定と、好景気が平行していることに留意させる。</p> <p>○どのような態度をとるかの理由を書く際、資料をもとに根拠を持って書くよう指導する。</p>	<p>★情報分析活用力</p>
4 ナチスによるユダヤ人迫害と、それによって恩恵を受けていた大多数のドイツ人について理解し、当時のドイツに生きていたらどのような態度をとるかその理由とともに個人で考える。→ペアで共有	<p>○ユダヤ人迫害に対してなぜ国民が抗議の声を上げなかったのかという問いを持たせ、ユダヤ人迫害によって実利を得ていた大多数のドイツ人の具体例を挙げながら説明する。</p> <p>○当時のユダヤ人はドイツ全体の人口の1%にも満たなかったことに留意させる。</p>	
5 ナチスはいつなら止められたかを年表をもとに個人で考える。→班で共有	<p>○なぜ自分がそう考えたのか、根拠を持って説明するよう指導する。</p> <p>○他人の意見を否定することないように留意させる。</p>	<p>○学んだ知識を踏まえて、自分であればナチスに対してどのような態度をとったか積極的に考えている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
6 班で出した意見を全体で共有する。	<p>○各班で発表させるが、正解はないとした上で、誰かの人権が侵害されたときに、それを受け入れてしまったらその後どんな人権侵害にも声を上げることができなくなってしまうことをニーメラーの言葉を示した上で伝え、授業を終える。</p>	<p>★コミュニケーション力</p> <p>★論理的思考力</p>